



## 地域支援センター みみらんど・會津

きこえやことばに心配のある  
乳幼児・児童・生徒への支援を  
行っています。

### 乳幼児教育相談

0歳児からの支援を行います。

あ〜あ。  
積み木が倒  
れちゃった  
ね。



楽しいね！



はーい！

うわ〜！

聴力測定の練習やおやつを使って  
舌やお口の体操をしたりします。  
遊びを通してコミュニケーション力を育てる支援を行います。

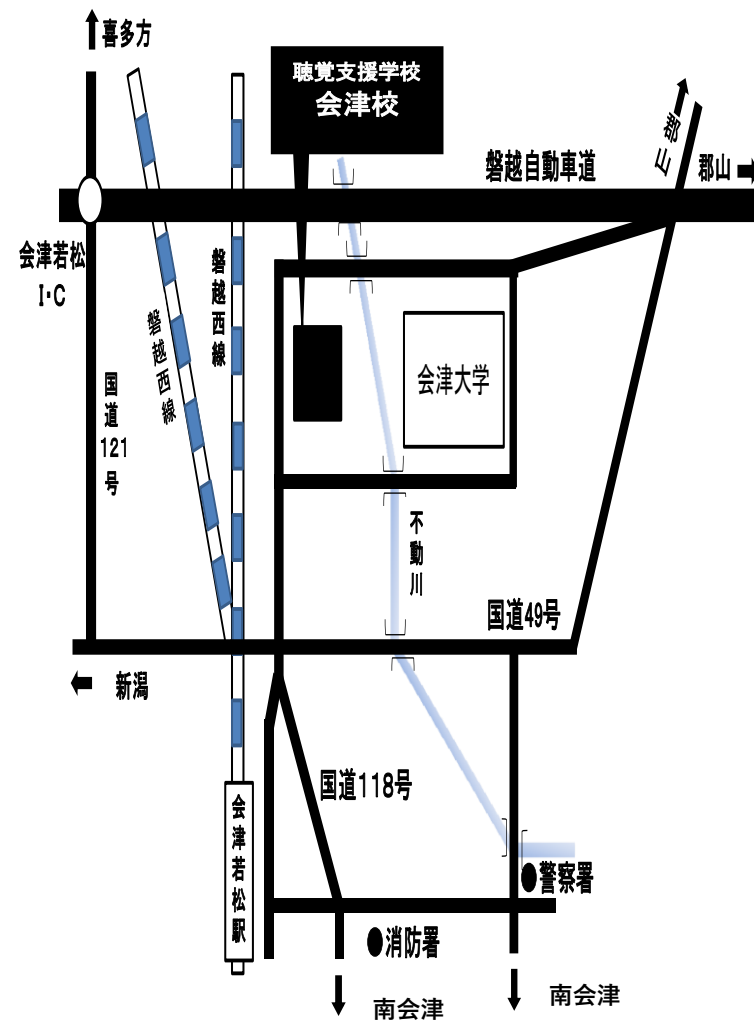
### 就学後の教育相談

お子さんだけでなく、ご家族及び担当の先生を支援します。

- ・合理的配慮と一緒に考えます。
- ・難聴理解学習等の出前授業も行います。
- ・公開学習会など、研修の場を提供します。



合理的配慮の例  
テニスボールを机や  
椅子の脚につけて騒  
音を減らす



### 地域支援センター 「みみらんど・會津」

〒965-0006

福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102

福島県立聴覚支援学校会津校内

TEL 0242-22-1286

FAX 0242-22-1286

E-mail fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp



ご存じですか？

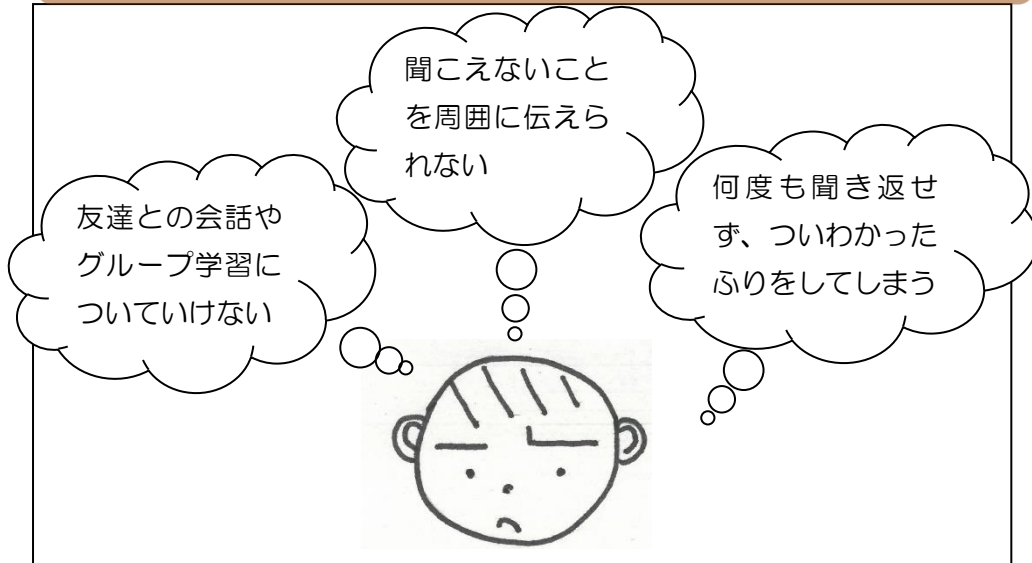
きこえにくさのあるお子さんへの  
合理的配慮について



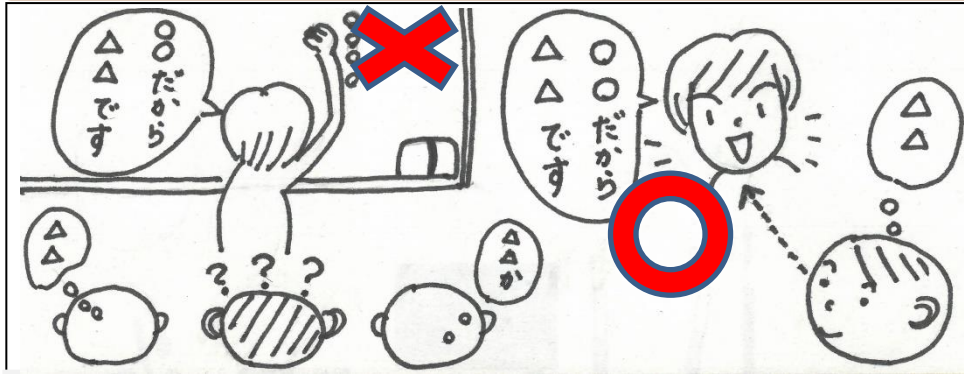
聴覚障がいやきこえにくさのあるお子さんにとっての  
集団生活上のつまずき・困り感を知ることが、合理的  
配慮につながります。

**福島県立聴覚支援学校会津校**

## きこえにくい＝コミュニケーションの障がい



## 話し方による配慮



話し手は、口元をよく見えるようにします。例えば、黒板を向いて話したり、早口で話したり、声が小さかったり、歩きながら話したりすると、聞き取りにくくなります。

## 外からは見えにくい困り感を知ることが大切です。

周囲からはわかりにくい障がいであることから、一人だけで困難さを抱えてしまうことがあります。周囲の理解と協力が大きな支えとなります。



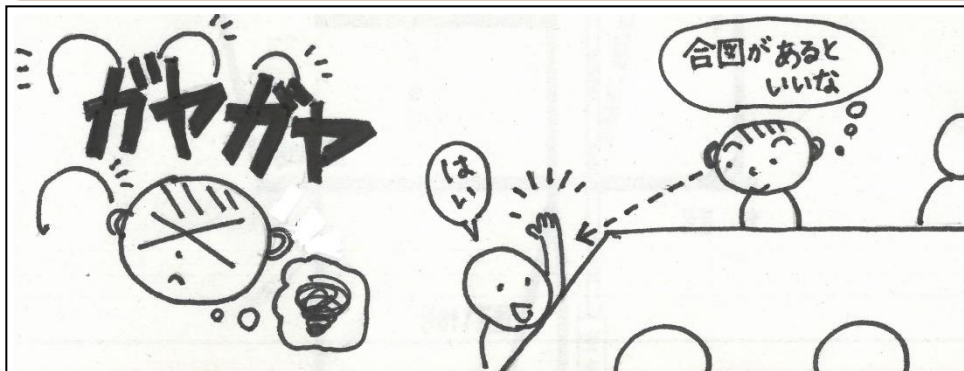
あなたなら  
どんな配慮を  
行いますか。

## 教室環境の配慮 ～補聴器や人工内耳を装着している場合～



ドアの開閉時に大きな音が出ないようにしたり、机や椅子は引きずらないようにしましょう。教室の窓にカーテンを引くだけでも音の反響が少なくなり、聞き取りやすくなります。

## グループ学習での配慮



ギャギャしていると、聞き取りにくいです。話し手は挙手するようにして位置がわかるようにしましょう。また、話が突然変わるとわかりにくいので、キーワードなどポイントを示しましょう。

## 補聴援助システムの活用について ～補聴器や人工内耳を装着している場合～



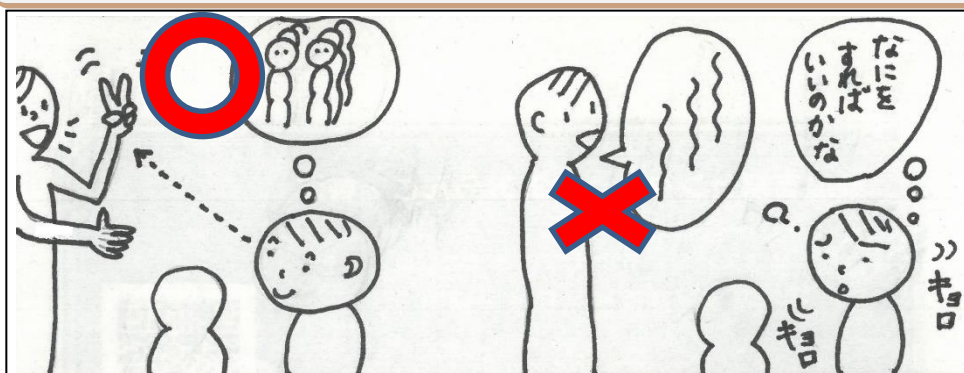
いろいろな補聴援助システムがあります。周囲の雑音をできるだけ排除して、聞きたい声をよりきれいに聞こえるようにします。音は鮮明になりますが、完全に聞こえるわけではないため、話し方の配慮は必要です。

## 座席の位置による配慮



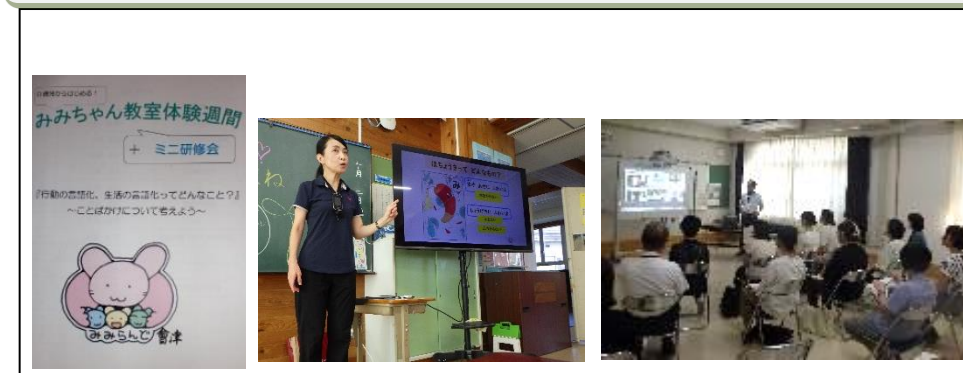
園や学校では、先生の表情や指示が見やすい位置、具体的には話し手の口元が逆光にならない中央からやや窓際、前から2～3列目がよいでしょう。前席のお子さんを見本として活動することができるためです。

## 視覚的な手がかりによる配慮



文字や絵、身振りなど、見てわかる視覚的補助が重要です。また、聞くことと書くことは同時にはできません。書く時間や作業する時間を確保しましょう。

## 難聴理解のための出前授業や研修会について



難聴についての理解を深めるために、発達年齢に応じた出前授業、ニーズに応じた研修会を行います。お気軽にみみらんど・會津へお電話ください。 ☎0242-22-1286